

～摺上川ダムの気候変動への対応に向けて～  
ダム設備の健全性と下流河川の安全性を  
19年ぶりの試験放流（毎秒100m<sup>3</sup>）で確認します。

近年の「気候変動の影響」や「カーボンニュートラルの要請」に対応するため、摺上川ダムでは“事前放流”や“ハイブリッドダム試行”などの「ダム運用の高度化」を安全に実施する必要があります。

ダムの運用高度化の実施にあたり、放流設備等のダム設備が正常に作動するのか、放流水が下流河川を安全に流れるかなどについて、ダムの操作ルールで規定されている最大放流量の毎秒100m<sup>3</sup>を試験的に放流し、確認を行います。摺上川ダムでは、ダム試験湛水時の平成18年3月に毎秒100m<sup>3</sup>を試験放流して以来19年ぶりの試験放流となるとともに、ダム管理移行後の最大放流量の毎秒50m<sup>3</sup>（平成28年3月）を大きく上回る流量になります。

※試験放流には大量の水を使用するため、ダム利用者（福島県、福島地方水道用水供給企業団、東北電力（株））のご理解とご協力のもとで実施します。なお、気象状況によりダム貯水量の回復が見込めず、渇水が懸念されるなど利水の供給に悪影響を及ぼす恐れがある場合は、試験放流を延期または中止することがあります。

1. 試験放流の実施日 : 令和7年3月18日(火)～3月19日(水)
2. 試験放流の概要 : 別紙のとおり

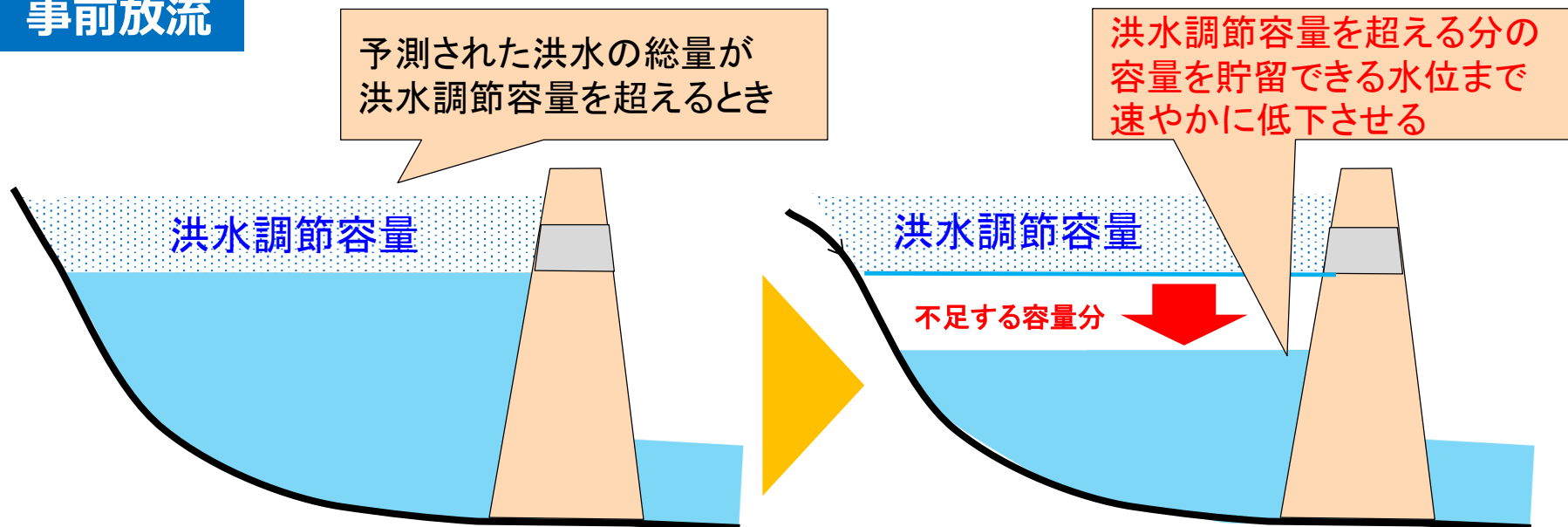
《発表記者會：福島県政記者クラブ、福島市市政記者クラブ》

問い合わせ先

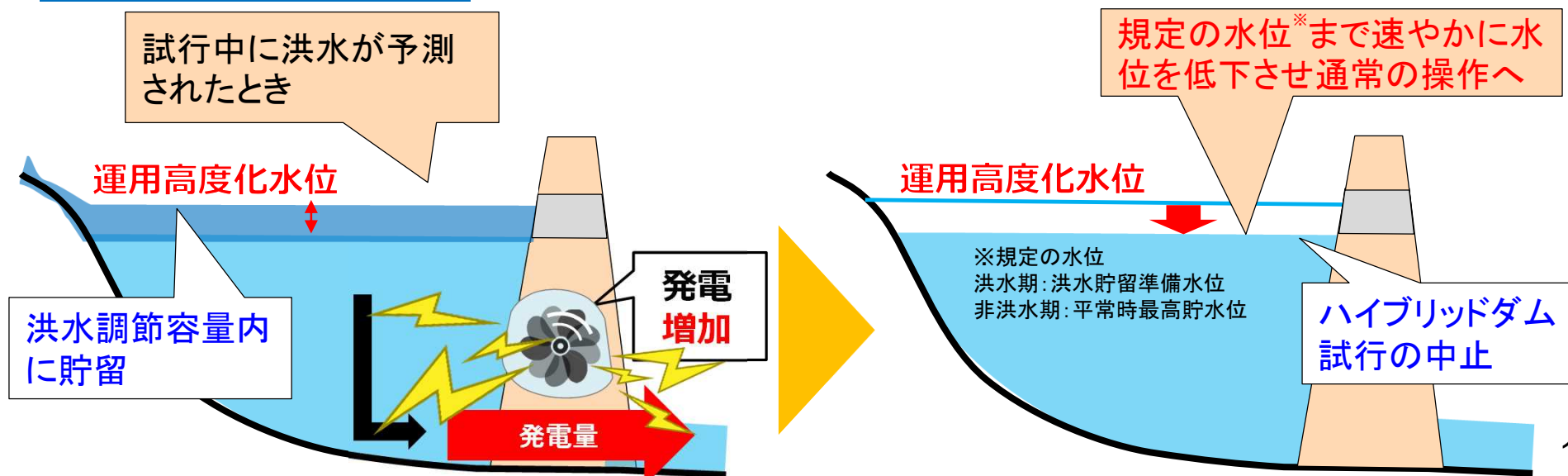
国土交通省 東北地方整備局 摺上川ダム管理所  
〒960-0271 福島市飯坂町茂庭字蟬狩野山25 電話 024-596-1275

管理所長 三浦 猛 (内線201)  
専門職 岩本 幸夫 (内線330)

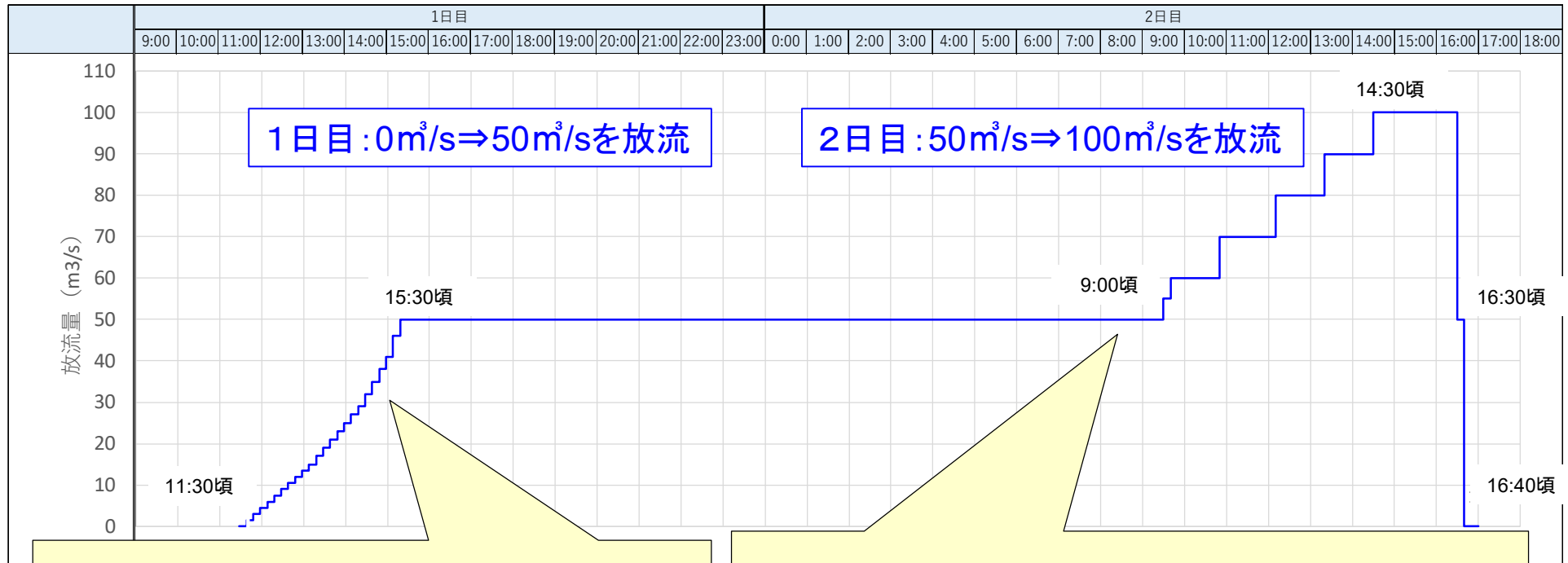
## 事前放流



## ハイブリッドダム試行



# 試験放流スケジュールについて



1日目 : 0m³/s ⇒ 50m³/sを放流

2日目 : 50m³/s ⇒ 100m³/sを放流

1日目 / 令和7年3月18日(火)

- 11:30頃から、河川の水位が急激に上昇しないよう、少量ずつ放流量を増やします
- 15:30頃に毎秒50m³に達し、その後はこの放流量を維持します

2日目 / 令和7年3月19日(水)

- 9:00頃に放流量を毎秒60m³に増やし、下流の河川を安全に流れたかを確認します
- 安全が確認できたら、毎秒10m³ずつ放流量を増加させ、毎秒100m³まで繰り返します
- 14:30頃に毎秒100m³に達した放流を2時間維持した後、試験放流を終了します

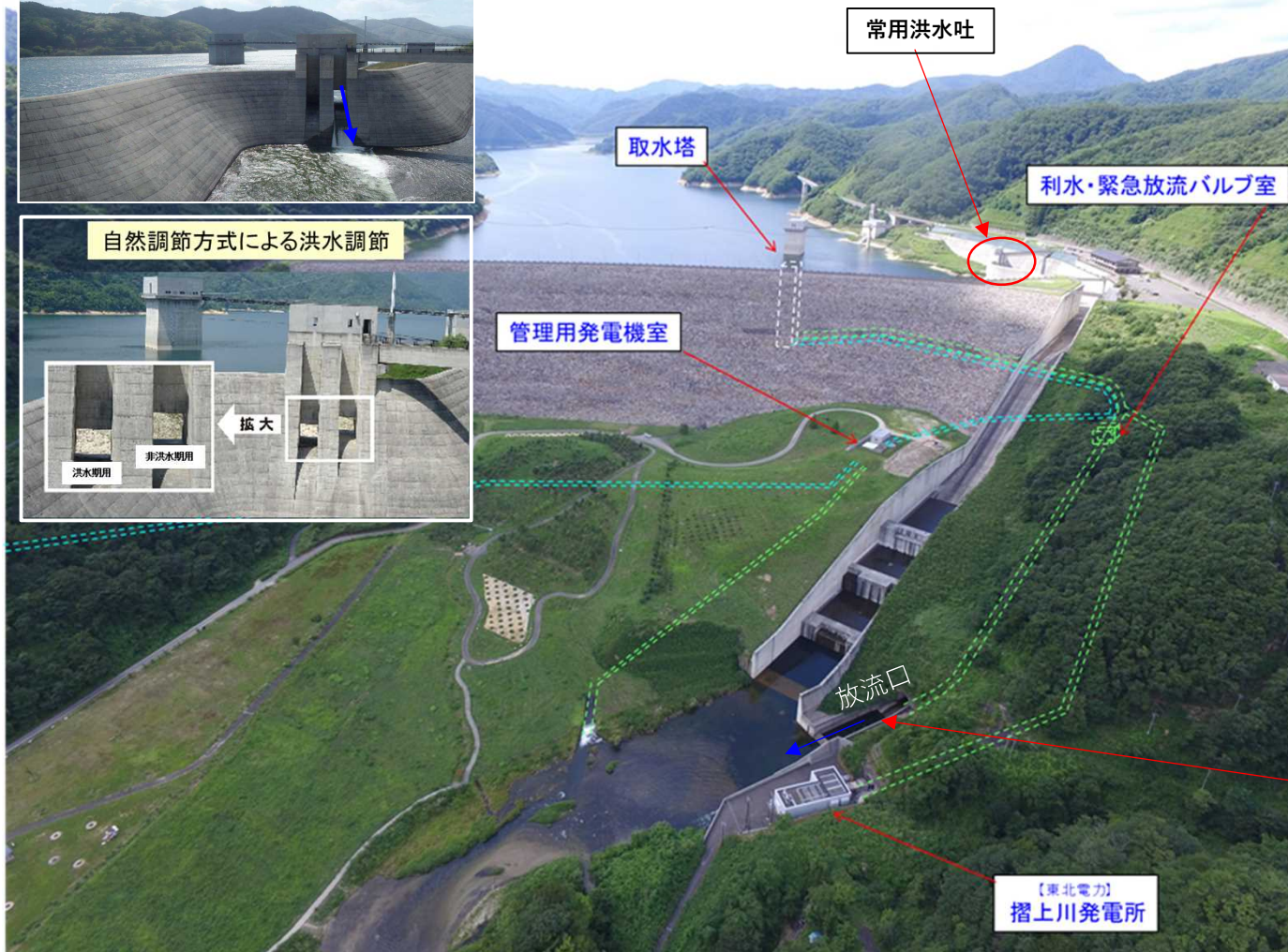
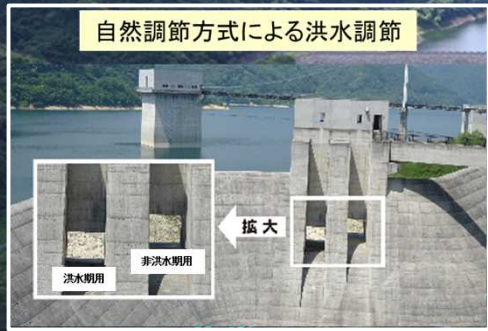
# 試験放流に使用する放流設備

## 常用洪水吐き【試験放流では使用しません】

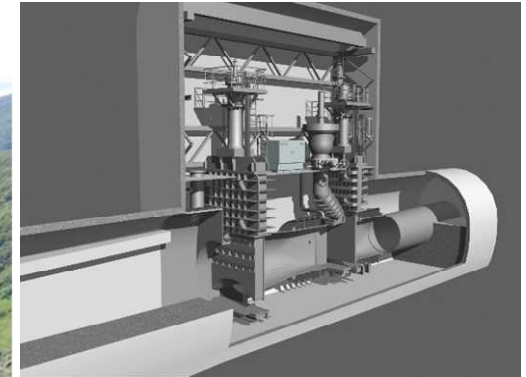
洪水調節時は、常用洪水吐きから最大毎秒100m<sup>3</sup>を放流します



## 自然調節方式による洪水調節



## 利水・緊急放流設備【試験放流で使用します】

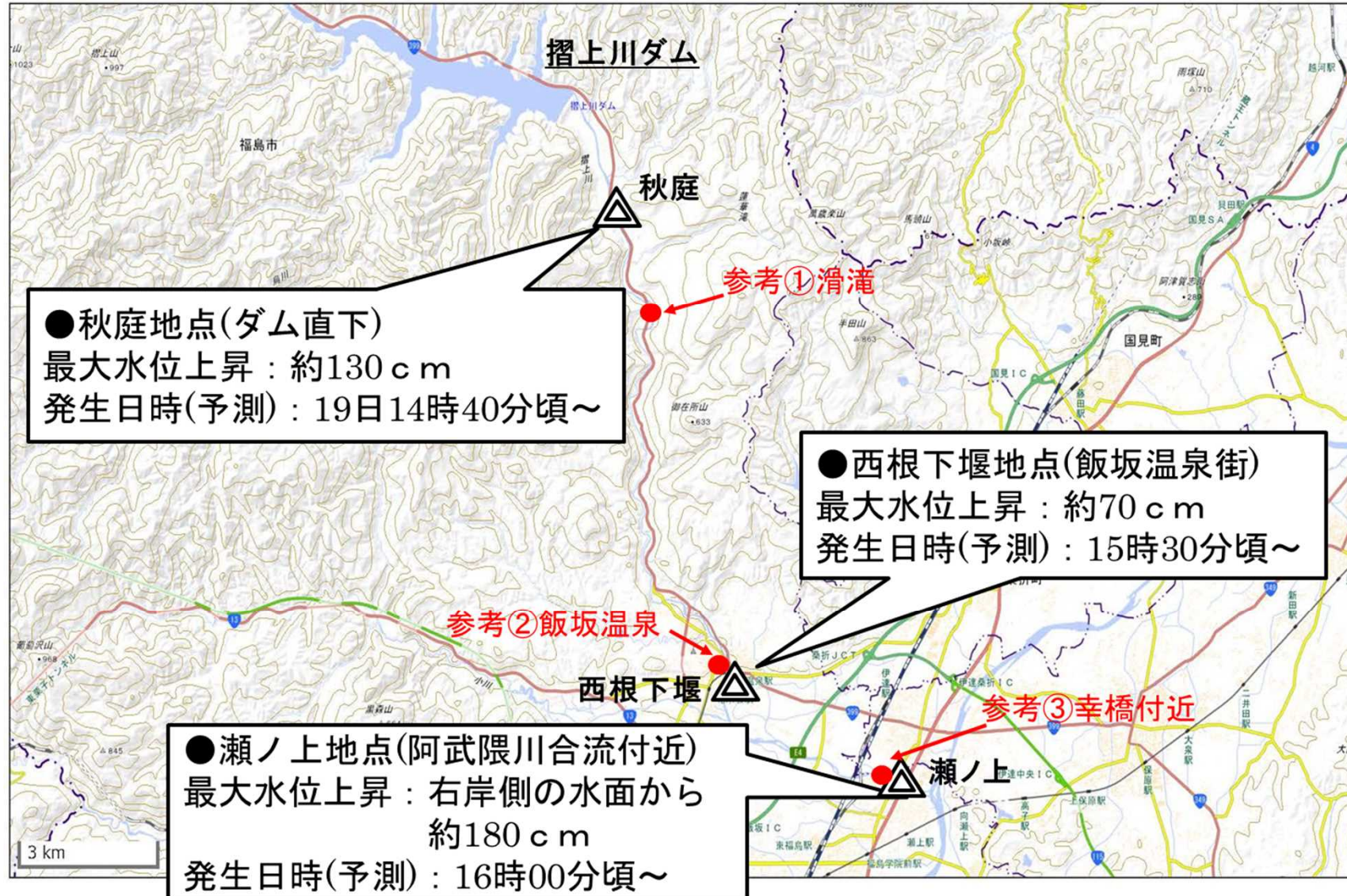


【参考】  
平成18年3月試験放流時の放流状況



# 試験放流に伴う摺上川の水位上昇について

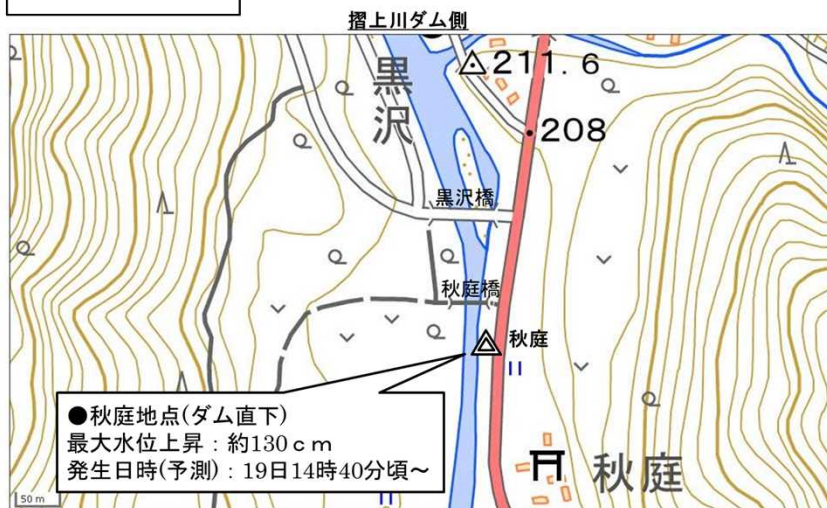
○3月18日(火)11時30分頃から放流量を増加するため、河川水位が上昇を始めます。通常より水位が高い状況は、3月19日(水)18時30分頃まで続くのでご注意ください。





# 観測所位置図

## 秋庭地点



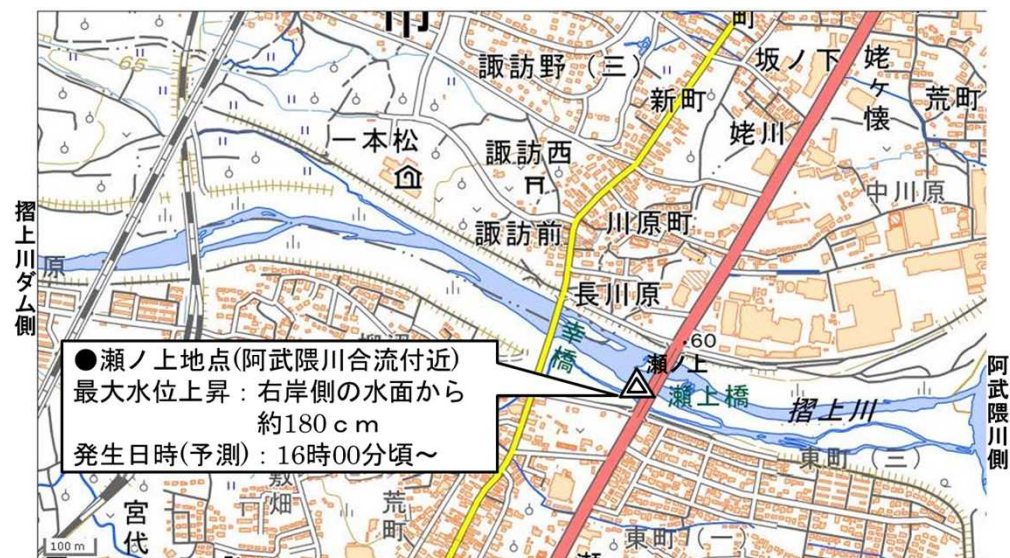
福島県福島市飯坂町茂庭字秋庭 付近

## 西根下堰地点



福島県福島市飯坂町字三番坂下 付近

## 瀬ノ上地点



福島県伊達市長川原 付近











